

# 令和9年度県立高等学校入学者選抜における推薦入学者選抜について

令和8年5月22日  
大分県教育庁 高校教育課

## 1. 令和9年度推薦入学者選抜（現中学3年生対象）における推薦要件

- 推薦要件の区分は、令和8年度入試同様、【活動指定あり】【活動指定なし】【志望学科】の3区分。
- 各推薦要件による募集について、令和8年度入試同様、【活動指定なし】【志望学科】の区分は、その両方または一方を全県立高校の全学科において実施。【活動指定あり】は高校の判断により募集可能。

**【活動指定あり】** 高校ごとに指定したスポーツ活動、文化活動に係るもの。

**【活動指定なし】** スポーツ活動、文化活動、若しくはその他の活動において、アピールできるものを有するもの。ただし、【活動指定あり】の推薦要件を定める高校においては、当該要件で指定したスポーツ活動、文化活動を除く。

**【志望学科】** 志望する学科に係るもの。

## 2. 令和9年度推薦入学者選抜（現中学3年生対象）の変更点について

- (1) 令和9年度推薦入学者選抜から、大分・別府両市以外の全日制普通科において、指定地域からの志願者を対象として選考する「地域活性化枠」を設定した「自己推薦型入学者選抜」（中学校長の推薦を必要としない）の実施を可能とする。

これにともない、これまでの「推薦入学者選抜A」「推薦入学者選抜B」の区分を廃止し、「学校推薦型入学者選抜」（中学校長の推薦を必要とする）と「自己推薦型入学者選抜」（中学校長の推薦を必要としない）の入試区分に改定。

- (2) 「学校推薦型入学者選抜」「自己推薦型入学者選抜」ともに、多様な方法で選考できるように学校の状態に応じて適性検査、集団面接等の選抜方法の中から実施が可能。

## 3. 令和9年度推薦入学者選抜（現中学3年生対象）の概要

- (1) 各高校の入試区分について

各高校の推薦要件と入試区分の関係は下記の表のとおり。

大分・別府両市以外の地域の全日制普通科においては、表のとおり、【活動指定なし】【志望学科】の区分を「自己推薦型入学者選抜」もしくは「学校推薦型入学者選抜」のどちらかを選択して実施。

なお、「学校推薦型入学者選抜」及び「自己推薦型入学者選抜」の募集人員は別途定める。

《推薦要件、高校の所在地、入試区分の関係》

	【活動指定あり】	【活動指定なし】	【志望学科】
・大分・別府両市の全日制普通科 ・全日制専門学科・総合学科 ・定時制（爽風館高校を除く）	学校推薦型	学校推薦型	学校推薦型
・大分・別府両市以外の全日制普通科	学校推薦型	学校推薦型（「地域活性化枠」を設定しない場合） 自己推薦型（「地域活性化枠」を設定する場合）	

- ・別府翔青高校グローバルコミュニケーション科、大分舞鶴高校理数科、芸術緑丘高校音楽科・美術科の推薦要件については、特に学科の特色に応じた生徒募集を行う観点から、【志望学科】のみを設定するものとする。
- ・爽風館特別入試については、県教育委員会が別に定める。

## (2) 「地域活性化枠」について

### (「地域活性化枠」の割合)

- 「地域活性化枠」を設定した「自己推薦入学者選抜」を実施する場合は、地域の実情等を踏まえ、指定地域からの募集人員を【活動指定なし】【志望学科】の区分における募集人員全体の80%以内として、高校ごとに策定。
- 各高校における、「地域活性化枠」の指定地域は次の通り。

#### 《「地域活性化枠」の対象となる指定地域》

「地域活性化枠」を設定可能な学校（普通科）	指定地域（出身中学校の所在市町村）
中津南高校、中津南耶馬溪校、中津北高校	中津市
宇佐高校、安心院高校	宇佐市
高田高校	豊後高田市
国東高校	国東市、姫島村
杵築高校	杵築市、日出町
臼杵高校	臼杵市
津久見高校	津久見市
佐伯鶴城高校	佐伯市
三重総合高校	豊後大野市
竹田高校	竹田市
玖珠美山高校	九重町、玖珠町
日田高校	日田市

※由布高校は、由布市内中学校を対象に連携型入試を実施しているため、「地域活性化枠」は設定しない。  
※安心院高校は、安心院中学校及び院内中学校を対象に連携型入試を実施しているため、両中学校は、安心院高校の「地域活性化枠」の対象外とする。

### (「地域活性化枠」を設定する場合の選考方法)

- 【活動指定なし】【志望学科】の選考において、まず、指定地域からの志願者を対象に「地域活性化枠」の募集人員の範囲内で合格内定者を決定。
- 次いで、指定地域以外からの志願者及び「地域活性化枠」で合格内定とならなかった志願者を対象に選考し、推薦要件【活動指定なし】【志望学科】の募集人員の範囲内で合格内定者を決定。
- 指定地域からの志願者が「地域活性化枠」の募集人員を下回る場合は、【活動指定なし】【志望学科】の募集人員の範囲内で、指定地域以外から合格内定者を決定。

(3) 推薦入学者選抜の選考の資料

○学校推薦型、自己推薦型とも、各学校がその実態に応じて、生徒の個性や適性を多面的に評価できる  
よう、次の選考資料のうちから、学校・学科・推薦要件ごとに選択。

《選考資料》

	学校推薦型入試	自己推薦型入試
調査書	○	○
推薦書	○	—
志願理由書	—	○
小論文	○	1つ以上を実施
学力検査	—	
適性検査	△※	
集団討論	1つ以上を実施	1つ以上を実施
集団面接		
個人面接		

○：選抜の資料とする      △：必要に応じて実施し、選抜の資料とする      —：実施しない

※別府翔青高校グローバルコミュニケーション科、大分舞鶴高校理数科、芸術緑丘高校音楽科・美術科については、特に学科の特色に応じた生徒募集を行う観点から、適性検査を実施するものとする。

○「学力検査」は国数英3教科、検査時間は各教科30分50点満点、問題は択一式とし、  
県教育委員会が問題作成。

○その他の検査の内容は以下のとおり。

・適性検査      推薦要件に係る適性或資質・能力を評価する検査

例. 教科に係る知識・技能や思考力・判断力・表現力を問う英問英答を含む口頭試問や  
記述式検査

音楽や美術の技能等を評価するための実技検査

指定するスポーツ活動に係る資質・能力を評価する実技検査

中学校在学時に取り組んだ活動の実績を発表するプレゼンテーション 等

・集団討論      与えられたテーマについて少人数グループで話し合う形式の検査

・集団面接      複数の受験者を対象とする形式の面接

・個人面接      一人の受験者を対象とする形式の面接